

① 快適な都市空間の形成

～よりよい都市空間をめざして～

平成23年度の主な取組状況

●土地区画整理の促進

都市計画区域内の土地について公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図り、市街地の良好な環境を整備するため、土地区画整理事業を促進しています。23年度は、大分駅南地区ほか2箇所です業を行いました。



【大分駅南地区(大分市)】



【中津駅北地区(中津市)】

●都市公園整備の推進

緑とオープンスペースが果たす環境保全や景観形成、防災、レクリエーション等の多様な機能により、安全で快適な緑豊かな都市環境を形成するため、都市公園整備を推進しています。

23年度は、大洲総合運動公園にて、硬式野球場の大規模改修を行い、グラウンドの拡張やスコアボードの改修を行いました。



【大洲総合運動公園 硬式野球場】



【改修後の硬式野球場スコアボード】

目標指標の達成状況

		10年前	H16年度 (計画時)	H23年度	H24年度	H27年度 (目標値)
都市内の街路整備(km)	目標値a	-	-	577	583	600
	実績値b	413	535	596	-	-
	達成率b/a	-	-	103.3%	-	-
土地区画整理施工面積 (ha)	目標値a	-	-	2,722	2,757	2,863
	実績値b	1,725	2,475	2,800	-	-
	達成率b/a	-	-	102.9%	-	-
一人あたり都市公園等 面積(m ² /人)	目標値a	-	-	12.7	12.8	13.0
	実績値b	8.7	10.8	12.7	-	-
	達成率b/a	-	-	100.0%	-	-

業績評価

都市内の街路整備	達成	計画的に街路整備を推進し、目標を達成しました。
土地区画整理施工面積	達成	計画的に土地区画整理事業を促進し、目標を達成しました。
一人当たり都市公園等面積	達成	市町事業の公園や、都市緑地・緑道及び県整備の広域公園等、計画的な整備により、目標を達成しました。

② 生活排水対策の推進

～子どもたちが遊べるきれいな川や海をめざして～

平成23年度の主な取組状況

●生活排水処理施設整備の推進

「大分県生活排水処理施設整備構想2010」に基づき平成41年度末生活排水処理率90%を目標に市町村と連携し整備を推進しています。

23年度は、下水道事業を11市1町、農業集落排水事業を1市、漁業集落排水事業を1市、浄化槽設置整備事業を16市1町で実施しました。

佐伯市において、24年4月に蒲江浄化センター、24年7月に上浦浪太地区漁業集落排水処理施設が供用開始されました。

【事業効果】



佐伯市蒲江浄化センター



佐伯市上浦浪太地区
漁業集落排水処理施設

●生活排水対策の啓発活動

大分の恵み豊かな自然を守り、次の世代に引継ぐために、毎年9月10日から10月10日までを「生活排水きれい推進月間」として、家庭から出る排水をきれいにすると呼びかけています。

23年度の 主な実施内容	生活排水対策 パートナーシップ推進事業	生活排水は日常生活に起因し排出されることから、家庭における廃食用油の適正な処理等の実践や地域における水環境保全活動への取組みなど、県民一人ひとりが生活排水対策を実践できるよう、NPO法人等の提案を基に、啓発活動を展開しています。 23年度は2団体の提案を採択し、9月～12月に下記の2事業を県内各地で実施しました。
-----------------	------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



食器などの汚れを拭き取るウエスを作り、協力店舗で配布



廃食用油利用の石けん作りを通じた啓発



啓発用のぼり

目標指標の達成状況

		10年前	H16年 (計画時)	H23年度	H24年度	H27年度 (目標値)
生活排水の処理率	目標値 a	—	—	68.2%	69.4%	73.1%
	実績値 b	45.3%	58.6%	68.6%	—	—
	達成率 b/a	—	—	100.6%	—	—
生活排水処理施設を利用できる人口		56万人	72万人	82.1万人	—	87万人

業績評価

達成	市町村に対して財政面及び技術面の支援を行い、目標を達成しました。
----	----------------------------------

③ 渋滞の軽減

～イライラのない交通環境をめざして～

平成23年度の主な取組状況

●渋滞の軽減対策(大分駅付近連続立体交差事業)

大分駅周辺では、大分駅付近連続立体交差事業や庄の原佐野線整備事業を推進しています。平成24年3月17日のJR日豊本線高架切替に伴い、関連する10箇所の踏切の遮断が解消されました。

【工事が進む大分駅周辺総合整備事業】H24.3



【国道210号 田室仮踏切(大道陸橋跡)】H24.3
高架開業後、関連する10箇所の踏切撤去工事を進めています



【JR日豊本線高架切替により、撤去される踏切(10箇所)】



目標指標の達成状況

		10年前	H16年度 (計画時)	H23年度	H24年度	H27年度 (目標値)
渋滞対策が必要な箇所数 (箇所)	目標値a	—	—	8	8	5
	実績値b	—	22	8	—	—
	達成率a/b	—	—	100.0%	—	—

業績評価

達成	大分駅周辺の渋滞対策を進めるとともに、有料道路の無料化等により、交通渋滞対策は順調に進捗しています。
----	----------------------------------------------------

④ 住宅環境の向上 ～すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして～

平成23年度の主な取組状況

● 県営住宅のバリアフリー化

すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして、平成23年度は、大分市の敷戸住宅において36戸の全面的改善工事を行ったほか、大分市の徳島住宅などにおいて38戸の高齢者向け改善工事を行いました。

高齢者向け改善工事の施工例

○ 敷戸住宅全面的改善工事

入居者の移動を円滑にするため、エレベーターや片側廊下の設置等、全面的な改善工事を行いました。

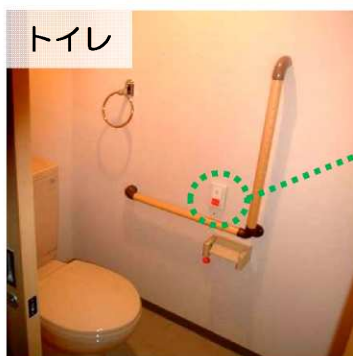


○ 高齢者向け個別改善工事

エレベータの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸においては、浴室やトイレに、手すりや設備等を設置し、高齢者の利用に配慮した改善工事を行いました。



手すり、給湯器、シャワーを設置しました。



手すり、非常呼び出しボタンを設置しました。



目標指標の達成状況

		10年前 (平成6年)	H16年度 (計画時)	H23年度	H24年度	H27年度 (目標値)
バリアフリー化された 県営住宅の割合	目標値a	—	—	18.0%	19.0%	22.2%
	実績値b	1.7%	11.2%	18.4%		—
	達成率b/a	—	—	102.2%		—
高齢者対応の 県営住宅の割合	目標値a	—	—	27.5%	28.5%	31.0%
	実績値b	4.9%	21.0%	28.0%		—
	達成率b/a	—	—	101.8%		—

業績評価

達成	平成21年度に策定した「大分県公営住宅等長寿命化計画」等に基づいて計画的にバリアフリー化、高齢者対応に取り組んだ結果、目標を達成しました。
----	-----------------------------------------------------------------------